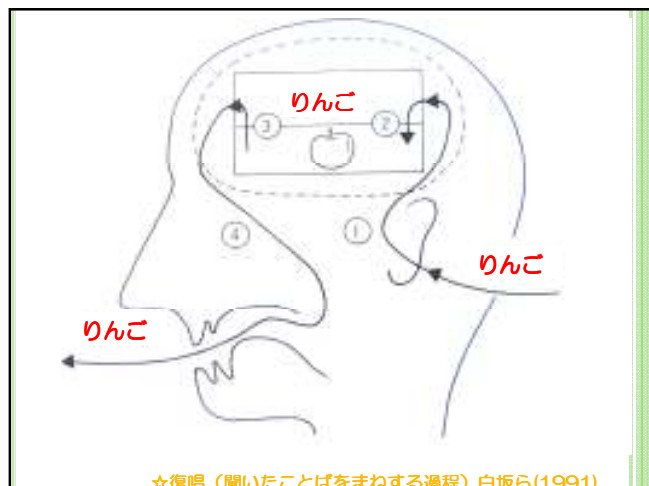


ことばの障害 ～構音障害とは？～

2011.3.25 言語聴覚士 大塚 幸子



ことばの障害

大きく分けると...

- ① 失語症
ことばがうまく話せない
なかなか出てこない
- ② **構音障害**
ろれつが回らない

構音障害とは？

原因

- ①脳血管障害（脳梗塞・脳出血など）
- ②脳外傷
- ③進行性疾患
- ④器質性障害（舌ガンなど）



ろれつがうまく回らない
ことばがはっきりしない

なぜ、話しにくくなるのか？

病気などによって、
顔・唇・舌に麻痺が生じる



唇や舌が思うように動かせなくなる、
動きにくくなる

症状

- **声の異常**
ガラガラ声、力の入った声、弱々しい声
- **発音の異常**
発音が崩れて、はっきりとしない
- **話し方の異常**
話が途切れる 単調に聞こえる
話す速度が遅くなる・速くなる
…などさまざま

具体的には…

唇の力が弱い、しっかり閉じられない



マ行、パ行、バ行などが言いにくくなる

舌が上手く動かない



タ行、カ行、ウ行などが言いにくくなる

※個人差あり ●

構音障害に伴って…

今までと同じ食事が難しくなることも!! ●

食べ物を食べるとき

①食べ物をよくかむ

②「ごっくん」と飲み込む ●

①食べ物をよくかむ

歯、唇、舌、頬を使って、
食べ物を口の中でひとまとまりにする



唇・舌が動きにくい
力が弱い、入りにくい



口からこぼれる、
まとめることが難しい ●

②「ごっくん」と飲み込む

舌、頬でのどの奥に食物を押し出し、
飲み込む



舌が動きにくい、力が弱い
飲み込むときの力が弱い、遅い



のどに食物が残っている感じがする
咳が出る、むせる ●

言語訓練として

- ◆声をはっきり出す（発声練習）
- ◆唇や舌を動かす運動
- ◆言いにくいことばを言う（構音練習）
- ◆短い文や長い文を読む（音読練習）
- ◆歌唱

…など

☆それぞれの方に合わせて訓練を行う ●

*唇や舌を動かす運動
お口の体操

(引用:ドンパンお口の体操より)

お口の体操

唇

①大きく開ける - 閉じる



②横に引く - 突き出す



お口の体操

舌

①出す - 引っ込める



②右 - 左



③上 - 下



④一周り

お口の体操

頬

①膨らませる - 引っ込める

②交互に膨らませる(右-左)



ご清聴ありがとうございました。

